## 2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科	科目区分	その他	授業の方法	講義演習
科目名	地域在宅看護実践論	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対象学年	2学年	学期及び曜時限	後期	教室名	新館2階、3階
担当教員	鬼頭 浩美	病院等で計14年勤務 介護支援専門員 看護師			

## 《科目目標》

1)在宅で療養する終末期事例、神経難病事例についてICFの視点を重視し、目標達成思考で看護過程が展開できる。 2)状況設定に応じた援助計画を立案し模擬実践ができる。

# 《成績評価の方法と基準》

【評価方法】演習・GWの参加状況30%、課題レポート70%

【評価基準】優:80点以上、良:70点以上80点未満、可:60点以上70点未満、不可:60点未満

#### 《使用教材(教科書)及び参考図書》

- 1) 関連図で理解する在宅看護過程 メヂカルフレンド社
- 2)ナーシンググラフィカ 23巻 在宅看護論① 在宅療養を支えるケア メディカ出版
- 3)ナーシンググラフィカ 24巻 在宅看護論② 在宅療養を支える技術 メディカ出版

#### 《授業外における学習方法》

その人が望む暮らしをできる限り可能にするために、生活者として対象をとらえる視点をもって具体的な援助を考える。 毎回の学習については授業以外での準備学習の具体的内容を参照する。

## 《履修に当たっての留意点》

看護過程の展開では老年看護学概論で学んだICFの概念に基づき考えていく。技術演習では基礎看護技術(日常生活援助・診療の補助)、暮らしの中の援助(生活ケア・医療的ケア)で学習した援助方法を活用し、状況設定に応じた援助を考え 模擬実践する。

	業の 法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第 1 回	演習形式	授業を 通じての 到達目標	在宅療養を支える社会資源(医療・福祉用具)		慢性期医療展において
		各コマに おける 授業予定	・在宅で利用する医療・福祉用具と保健適応 移動・移乗・体位変換、排泄・清潔・寝具、嚥下食・経管栄養 (胃瘻)、服薬管理、吸入・吸引、呼吸器(HOT・NPPV・TPPV)		見学した内容をまとめ指 定された日時に提出す る。
第 2 回	講義	授業を 通じての 到達目標	ケアマネジメントの過程が理解できる	-+	テキスト2)P121~133ま
	我 形 式			テキスト2)iPad	で読みケアマネジメント の概略を調べておく
第 3 回	講義 環業を 通じて標 各コマに おける 大学		在宅看護過程の考え方と展開方法が理解できる		テキスト1)のP1~39ま で読みわからない言葉 は調べておく
			<ul><li>・ICFの考え方</li><li>・在宅看護過程の考え方</li><li>・在宅看護過程における対象の捉え方</li><li>・在宅看護過程の進め方</li></ul>	テキスト1)iPad	
第 4 回	講義	授業を 通じての 到達目標	情報の整理・分析・解釈までの思考過程が理解できる		=+-11)
	義演習形式	各コマに おける 授業予定	・基本情報(フェイスシート)の意味づけ ・4側面からの情報収集と整理(一次アセスメント) ・望みを中心に置いた関連する情報の整理、アセスメントと課 題抽出(二次アセスメント)	テキスト1)iPad	テキスト1)のP1〜39ま で読みわからない言葉 は調べておく
第	講義演	授業を 通じての 到達目標	終末期事例の情報整理・分析ができる ※個人ワーク	テキスト1)	事例①についてシート

5 回	習形式	各コマに おける 授業予定	事例①:63歳大腸がん(ストーマ)についての情報整理・分析・ 解釈をシート1、2、3にまとめる	シート1、2、3	1, 2, 3をまとめ、指定さ れた日時に提出する
第 6 回	演習形式	授業を 通じての 到達目標 各コマに おける	終末期事例の看護計画が立案できる ※個人ワーク ・ペインコントロール、苦痛緩和への援助計画を立案する ・ストーマ管理への援助・支援の計画を立案する	・テキスト1) iPad シート1、2、3	事例①について看護計 画を立案し、指定された 日時に提出する
第7回	講義演習形	授業を通じての到達目標	神経難病事例の情報整理・分析・解釈ができる ※個人ワーク	テキスト1)	事例②についてシート 1,2,3をまとめ、指定さ れた日時に提出する 授業以外での準備学習
		各コマに おける 授業予定		iPad シート1、2、3	
	法			使用教材	の具体的な内容
第8回	演習形式	授業を 通じての 到達目標	神経難病事例の状況設定に応じた本人への援助と家族支援の計画が立案できる ※個人ワーク ・PEG管理の援助、家族支援の計画を立案する	テキスト1) iPad	事例②についてシート 1, 2, 3をまとめ、指定さ れた日時に提出する
		各コマに おける 授業予定	・気管切開、人工呼吸器装着中の管理と家族支援の計画を立案する ・文字盤を用いたコミュニケーションの計画を立案する	irau シート1、2、3	
第 9 回	演習形式	授業を 通じての 到達目標	終末期事例の情報整理・分析・解釈・看護計画をグループで 共有しまとめることができる ※GW	テキスト1) iPad	事例①についてグルー プでまとめたものを、授 業終了後に提出する
		各コマにおける授業予定	・事例の情報整理・分析・解釈をグループで意見交換する ・グループで検討し追加修正した内容をまとめ発表する	シート1、2、3	
用 10 回	演習・	授業を通じての到達目標	神経難病事例の情報整理・分析・解釈・看護計画をグループで共有しまとめることができる ※GW	テキスト1) iPad	事例②についてグループでまとめたものを、授業終了後に提出する 援助計画を追加・修正し、指定された日時に 提出する
	式演	おける授業予定授業を	・事例の情報整理・分析・解釈をグループで意見交換する ・グループで検討し追加修正した内容をまとめ発表する 終末期事例の状況設定に応じた本人への援助と家族支援を	シート1、2、3	
第	習	通じての 到達目標	模擬実践できる		
12 回	習実習形式	各コマに おける 授業予定	<ul><li>・計画に基づき模擬実践し動画を撮影する</li><li>・改善点について意見交換する</li><li>・計画修正をする</li></ul>	プロジェクター iPad	
第 13 回	演習実習	授業を 通じての 到達目標 神経難病事例の状況設定に応じた本人への援助と家族支 を模擬実践できる ・計画に基づき模擬実践し動画を撮影する		プロジェクター	模擬実践を通じて気づいた自己の課題をまと
	習形式	各コマに おける 授業予定	・改善点について意見交換する ・計画修正をする	iPad	め、指定された日時に 提出する
第 14 回	演習形式	授業を 通じての 到達目標	事例①②についての看護過程と模擬実践での学び・課題をが明確になる	プロジェクター	援助計画を追加・修正 し、指定された日時に
		各コマに おける 授業予定	グループで行った事例展開を発表し意見交換する。	iPad	提出する
第 15 回	講義演	授業を 通じての 到達目標	まとめ・課題レポート	プロジェクター	模擬実践を通じて気づ いた自己の課題をまと
	習 各コマに おける 授業予定		療養生活を支えるための看護過程の視点をまとめる	iPad	め、指定された日時に 提出する